

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2016. 12. 10
No.1148

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

2017あいち青年集会
「まなぶがま」

とき 1月28日(土)～29日(日)
ところ 蒲郡・西浦温泉 東海園

給与改定は、ほぼ人勧通りに 手当、非常勤賃金は前進回答



12.3 愛労連パート・臨時・非常勤などの元気の出る集会
「職場のコミュニケーションをよくするための実技講座」で講師の話に熱心に!

16 賃金確定闘争も最終盤を迎えています。第3交渉ゾーン(11月14日～25日)にも各単組は交渉を配置し、要求実現を迫りました。しかし、全体的には人勧通りの回答にこどまり、特殊勤務手当の廃止など、大変きびしい状況です。そうした中でも、夜間看護手当の改善、非常勤職員の時間給引き上げなどを実現しました。

愛知県国以上の給料表改定、扶養手当も独自に
愛知県(学事労)は、給料表で初任給1700円の改定、地域手当9・5%に引き上げ(現行9・3%)、来年度10%(一律)を約束させ、扶養手当も配偶者に係る部分の減額幅を抑制するなど、改善させました。

206円問題で、当局「違和感あり」と言うが
今年の給与改定では、国の本府省業務調整手当分(206円)は自治体の給料表に反映されず、改善を求めていくこととしました。いくつかの当局は「問題がある」と認識。「違和感がある」とも発言。しかし、何らかの改善となると回答に窮し、具体的な回答を引き出したところはありません。



17秋の確定闘争 続報

ながら、引き上げになると「財政問題、市民の理解」を繰り返すのみです。

非常勤職員の時給等
いくつかの単組で回答

蟹江町職労では、非常勤職員の時間給引き上げを実現したほか、経験加算を求めて引き続き交渉を継続しています。



岩倉市職の執行部合宿

蒲郡市では本庁の非常勤職員の超過勤務の取り扱いで、前日2時間残業をしたら、翌日2時間遅く出勤させるとし、超過を払わないしくみでしたが、これを改善させることを約束させました。

長時間労働やパワハラを撲滅し、働きやすい職場に!



いじめ、パワハラなくせ「過労死シンポ」

月80時間を超える時間外労働をすると「過労死ライン」といわれ、うつ病を発症したり、自殺をする人が増えたりします。睡眠不足で頑張っているのに、上司の一言が心に傷をつけ、労働相談をするケースがあると

を絶たず、パワハラが相談件数4年連続トップです。11月23日、厚生労働省主催の「過労死シンポジウム」が名古屋市内で開催。「お前には能力がない。今度ミスをしたら解雇だ」と上司に言われて思いつめて命を絶ってしまった人の話。些細なミスを過剰に叱責される。「ゆとり教育を受けたやつは使えない」と言われるなど長期間にわたって嫌がらせを受けた。職場のいじめやセクハラが絶えない、等の実態報告がされました。

ちよっとした言葉が人を傷つけます。職場全体で学習を深め、パワハラやいじめを撲滅しましょう。



自治体職場においても増えるパワハラ

人員不足のなか、自治体職場において時間外労働が多いのはもちろんのこと、ある病院であたりまえのように不払い残業がおこなわれていました。不規則な時間外をばって仕事をしているのに上司から「その時間外は認めない」とか、時間外の申請に対して「時間を減らさないと認められない

い」「仕事の仕方が悪い」「新人看護師には時間外をつけない」と言われたといひます。
公務という責任感と命を扱う仕事をしている使命感で、患者と向き合い時間外勤務をしている看護師。怒りを感じて組合役員に相談。団体交渉で当局も「あつてはならないこと」と認め調査することを約束。通知文書の内容は、不払い残業がないように「時間外の申請しなければならぬ業務例」「職員に言っていない言葉」など記載してあります。通知が出てから職場の状況を聞き取り調査中です。職員の意識が変わることを期待します。

「これって、おかしくない?」
今回の年金カット法案は、「物価が上がっても賃金が下落に合わせて年金を削減する」という新ルールを5年後の2021年から導入するといふものです。ただでさえ少ない年金を際限なくカットする仕組みです。年金制度を大転換する重大な法案にも関わらず、短期間で衆議院で強行採決されました。
「将来世代の給付確保のため」と言った安倍首相ですが、議会で追及に「物価の伸びほど年金は上昇しない」と答弁し、将来世代も年金が下がりが続くことを認めました。
年金だけでは生活できない分は、「社会保障全体で総合的に手を打っていく」と言いますが、医療も介護も負担増、給付削減が目白押しです。
本当にやるべきなのは、年金の支え手を増やすことです。青年の雇用が非正規・派遣ではなく正規雇用を増やし、賃金を上げることこそ、安心できる年金制度への道です。自民党・公明党自らが声高に叫んだ「100年安心年金」。ホンの数年前のお約束さえ、なかったこととしてばかりな安倍政権には、私たちの暮らしを託すこととはとても出来ないのではないのでしょうか?

「言いたい劇場」 小菅りや子



安く安心 セット共済
自治労連 掛金 1820円/月
病气入院 5000円/1日



「まな凧がま」成功へ元気いっばいの実行委員

2017 あいち青年集会 「まな凧がま」 Coming Soon

今年もあいち青年集会の季節がやってきました。今年のタイトルは「まな凧がま」。2017年1月28日(土)〜29日(日)に蒲郡市・西浦温泉で開催します。

組合ってなんですか？ 入った方がいいんですか？

後輩や新入職員の方から聞かれたことはありませんか？あなたが新入職員の頃、先輩に聞いたこともあるのではないのでしょうか。組合に入っている方も、よ

1月28日(土) PM
ワークショップ
交流会
1月29日(日) AM
ワークショップ

「まな凧がま」で作ろう
次世代ネットワーク

労働組合は大切で、なにより楽しいものです。いま、集会の準備をすすめている「まな凧がま」実行委員会には、全県から事務職・保育士・看護師・技師・・・31人の若手職員たちが参加しています。何が楽しいと言って、他の自治



10月28日「おしゃべり会」を開催

幸田町の臨時保育士による臨職部会は、「おしゃべり会」に未加入者も参加し

楽しい「おしゃべり会」で 仲間が増えたよ

幸田町職労臨職部会

体の、違う職種の同世代と、仕事や組合やプライベートのことを、思う存分話し合えることです。個人としての人間力アップはもちろん、労働組合の大切さと楽しさを実感できる、最高の場になっています。

県本部では、全ての単組から「まな凧がま」の参加者を募集しています。他の自治体・職種とのセッションで、新しい次世代ネットワークを一緒に作りましょう。

弁護団総会で 西尾市方式PFIの学習と懇談

自治労連県本部弁護団の第22回総会が、12月5日にアイリス愛知で行われました。総会前に「西尾市のPFI問題を考える会」で活動している代表の榎本紀正さんが報告しました。

西尾市方式PFIと呼ばれる独自の方法で、3つの公共施設の建設等、

160施設の管理を一括して一つの会社に丸投げしようとするもので、国の指針が求める公平性・透明性・事業の明確化・競争性のどれにも当てはまらない。立案、手順、決定方法、契約などの手続きにも問題があり、西尾市の将来に多大な損失をもたらす危険がある

ため、西尾市に住民監査請求を11月に提出し、引き続き住民訴訟も視野に入れていると話がありました。

総会では、活動報告、個別事件報告や方針を決定しました。団長の高木輝雄弁護士は「世の中を変えるのは労働者と組合のたたかいでありその力を信じて一緒にたたかいたい続けよう」と呼びかけました。



弁護団総会で発言する榎本代表

憲法と地方自治に関する首長懇談 2年目も次々に受け入れを予定

- 憲法をいかし住民生活を守るために、首長懇談が始まっています。
- 12月20日 西尾市 市長
 - 12月20日 江南市 副市長
 - 12月21日 新城市 副市長
 - 12月16日 弥富市 市長
 - 1月16日 東郷市 市長
 - 1月17日 刈谷市 副市長
 - 1月17日 愛西市 市長
 - 1月18日 あま市 市長
 - 1月19日 田原市 市長
 - 1月20日 豊山市 市長
 - 1月20日 高浜市 副市長
 - 1月25日 津島市 市長
 - 12月19日 日進市 部長
 - 12月7日 碧南市 副市長
 - 12月13日 設楽市 副市長
 - 12月16日 北名古屋市長



榎本半田市長と懇談

- 1月30日 みよし市 副市長
- 1月31日 知立市 副市長
- 2月2日 扶桑市 副市長
- 2月16日 阿久比市 部長

仲間の声

● 11月は工業研究所の一般公開行事が開催されました。参加していただいた市民の方々には「楽しかった」などの感想をいただきました。今後も研究所の立場や役割をアピールできたら良いと思います。

(名古屋職労・川瀬 聡)

● 組合のツアーで五桂池ふるさと村に行きました。みかん・きのこ狩りでは袋いっぱいになりました。お昼には「孫の店」で高校生シェフの料理をいただきました。瀧宮原で参拝もし、楽しいバスツアーでした。

(春日井市職労・宮地加奈子)

● 最近、喪中はがきが毎日のように届きます。私も高齢の両親と暮らしているのので、両親を大切にしたいと思っています。

(学事労・田中明美)